

令和7年度事業実績

I 事業の目的

関係機関・団体、農薬メーカー等と密接な連携を図りながら、農薬の安全・適正使用の推進及び効率的な病虫害防除の推進をはじめ、新規登録・適用拡大農薬の普及性の実証、農産物の安全性を確保するGAPの推進などの各種事業に取り組むことにより、安全で商品性の高い農産物の安定供給と生産性の向上を図る。

II 実施事業の概要

1 植物防疫啓発事業

病虫害防除に関わる関係法令を遵守し、農産物への農薬残留事故の回避及び農薬による環境汚染の防止を図り、農薬の安全で適正な使用による安定した農業生産及び生産環境を維持することを目的として、農薬管理指導士、防除業者、農薬販売業者及びJA・関係団体の指導員等を対象にした各種研修会を開催するなど啓発活動を実施した。

また、病虫害発生が多様化と難防除病虫害の増加に対応した効率的な防除と安全な農薬使用を推進するため、発生予察情報を迅速で適切に提供するとともに、防除技術及び農薬安全使用などに関する資料を作成し、的確な広報活動に取り組んだ。

主な実施項目

(1) 農薬管理指導士認定更新研修の開催

対象者：農薬管理指導士

研修会の内容：

- ①農薬の安全使用と危害防止対策について（(公社)緑の安全推進協会）
- ②病虫害防除対策の基礎について（県総合農試専門技術センター）
- ③毒物及び劇物取締法について（県中央、都城、延岡保健所）

表1 開催概要

開催日	開催場所	参加者数
11月5日	延岡市（延岡総合文化センター）	16名
11月6日	宮崎市（佐土原総合文化センター）	122名
11月7日	都城市（JAみやざき都城地区本部）	73名
合 計		211名

(2) 宮崎県農薬管理指導士新規養成研修の開催

開催日：令和7年12月18日

場 所：宮崎市 宮崎県総合農業試験場研修棟

対象者：農薬取扱者（JA、農薬販売店等）、防除業者、ゴルフ場職員等

結果等：48名が研修を受講。認定試験を実施し、全員が認定された。

研修講義内容：

- ① 関連法令（毒物及び劇物取締法）（県薬務感染症対策課）
- ② 植物防疫一般・関連法令（植物防疫、農薬行政、農薬取締法）
（県農業普及技術課）
- ③ 農薬一般（農薬の種類、特性等）（県総合農試生物環境部）
- ④ 農薬のリスク評価と安全性
（県総合農試病虫害防除・肥料検査課）
- ⑤ 雑草防除（県総合農試作物部）
- ⑥ 病虫害防除（県総合農試専門技術センター）
- ⑦ 農薬の安全・危被害防止対策（県農業普及技術課）
- ⑧ 農薬管理指導士の任務（県農業普及技術課）

(3) 植物防疫研修会の開催

開催日：令和7年6月24日

場 所：宮崎市 宮崎県総合農業試験場研修棟

県内各地 地域農業改良普及センター（リモート）

対象者：県農業協同組合、県農業共済組合、県農薬卸組合、

県農薬小売商組合、農薬メーカー、行政機関等 計126名出席

研修内容

- ① 演題：安全で効果的な農薬施用方法と農薬事故防止の留意点について
講師：日本化薬株式会社
※(公社)緑の安全推進協会派遣講師
- ② 演題：トマトキバガの物理的防除技術
講師：宮崎県総合農業試験場生物環境部主任研究員
- ③ 演題：発生予察事業と国内の病虫害の発生動向
講師：宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課主幹

情報提供

GAPに基づく農薬管理について

県農業流通ブランド課

(4) 病虫害発生予察情報の印刷・配付

発生予察情報 計23回（2,091部）

内訳：予報、注意報、特殊報、防除情報

(5) 農薬適正・安全対策資料及び防除対策資料の作成・配付

- ① 農薬適正・安全対策資料 725部
（植物防疫研修会資料、農薬管理指導士更新研修資料）
- ② 農薬安全・適正使用啓発資料
チラシ「トマトキバガ対策の周知」 8,000部
- ③ ラジオ啓発 2月～3月 週3回
- ④ 令和8年版病虫害・雑草防除等指導指針 ホームページ掲載
- ⑤ 令和6年度農薬展示ほ成績書 130部

2 農薬展示ほ設置事業

病虫害・雑草防除等指導指針や地域の防除暦策定の資料とするため、西臼杵支庁・農林振興局(農業改良普及センター)等関係機関の協力を得て、新たに登録あるいは適用が拡大された農薬を中心に展示ほを設置し、防除効果等の検討を行った。

(1) 農薬展示ほ設置及び検討会の開催実績

表2 農薬展示ほ設置実績 () は令和6年度

部 門	病虫害展示ほ数	除草剤展示ほ数 (生育調整剤含む)	合 計
水 稻 等	20 (10)	22 (23)	42 (33)
麦	6 (0)	0 (0)	6 (0)
茶	2 (0)	0 (0)	2 (0)
野 菜	35 (45)	0 (0)	35 (45)
花 き	5 (7)	0 (0)	5 (7)
果 樹	12 (10)	3 (0)	15 (10)
飼料用稲等	0 (3)	2 (3)	2 (6)
合 計	80 (75)	27 (26)	107 (101)

表3 展示ほ検討会の開催実績

部 門	成績検討会	設置検討会	合計
水 稻 等	2 回	1 回	3 回
茶	1	1	2
野 菜	1	1	2
花 き	1	1	2
果 樹	2	1	3
飼料用稲	1	1	2
合 計	8 回	6 回	14 回

表4 令和8年版「宮崎県病虫害・雑草防除等指導指針」採用農薬数

部 門	殺虫・殺菌剤	除草剤
水 稻 等	12	6
麦	2	
茶	1	
野 菜	23	
花 き	4	
果 樹	8	1
飼料用稲		1
合 計	50	8

(2) 農薬展示ほ事故対策補てん事業

農薬展示ほ設置によって発生した事故に係る損害の補てんを行うための事業である。

事故の発生はなく、補てん金支払はなかった。

3 GAP推進事業

GAP指導員の育成や令和7年度から開始された「MIYAZAKI-GAP」認証制度の運営を通して、食の安全・環境保全・労働安全に取り組むとともに、認証取得希望者（個人・団体・法人）に対する現地審査を実施した。

また、旧制度からの移行希望者及び新規希望者への認証制度の説明を随時行った。

(1) 研修実績

項 目	回 数	参加人数
JGAP指導員基礎研修	1	21
MIYAZAKI-GAP審査員研修	1	13
宮崎県GAPシンポジウム	1	69
JGAP団体認証研修	1	4

(2) 「MIYAZAKI-GAP」の現地審査、判断審査会、認証書発行等

①「MIYAZAKI-GAP」の現地審査（初回）

宮崎市、都城市、高鍋町、綾町の農業者、団体及び教育機関を対象に5ヶ所を実施

②判定審査会の開催

8月（2件）、2月（2件）の実施

③認証書の発行事務

初回審査（4件）について認証書を発行

④新認証制度の推進

宮崎市、都城市、延岡市、日向市、日南市、綾町の農業者及び団体を対象に新認証制度を説明

(3) 認証取得経営体数

49経営体（認証済み 4経営体、旧制度認証期間中 45経営体）